



2021-2022年度R.I.テーマ  
奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために



2021-2022年度 齋藤 修弘会長

**第2903回 例会**  
2021. 12. 16

会長あいさつ

週報 No.2183

発行 2021年 12月 23日

2021-2022年度  
会長 齋藤 修弘  
幹事 長沼 大策  
副会長 深澤 圭司  
副幹事 門崎 由幸  
編集責任者・公共イメージ向上委員会  
委員長 横山 泰史

### ゲスト

笹木醤油株式会社  
12代目当主 代表取締役社長  
笹木 吉五郎様

### 行事予定

- 1月 6日 氷川鯨神社初詣
- 1月 13日 会員卓話  
大木 保司会員
- 1月 20日 クラブフォーラム②  
会員卓話  
島村 健会員
- 1月 27日 新会員卓話  
寺脇 貴浩会員

皆さん、こんにちは。本日もお集まりいただきありがとうございます。今週は忘年会のラッシュで、本日の夜以外、月曜から金曜まですべて忘年会が入っています。月曜日は、ある政治家の方の国政報告会がありました。鳥村さんと坂本さんと須田さんもその場にいらっやっていて、今週は飲み会続きになるので、この日はお酒を控えようと思っておりましたが、その後、懇親会があって、須田さんに美味しい日本酒をたらふく飲まされて、せっかくの美味しい日本酒の味も飲んだことすら覚えておりません。今年のベスト3に入るくらいの二日酔いで翌日はお昼ぐらゐまで廃人のように機能停止していました(笑)。

来年1月6日(木)の新年第一例会は、氷川鯨神社様に初詣の後、居酒屋ちよっ蔵で新年会を予定しています。新年の景気づけに、須田商店さんから、美味しい日本酒を持ち込んでいただきますので、皆様多数のご参加をお待ちしております。

話は戻りまして、先日12月14日(火)は会長・幹事会が桶川の三朝寿司でありました。渡辺ガバナー補佐より、ガバナー補佐会議の内容の報告がありました。当地区は今年度、半期で59名の入会があり、その反面20名退会で、会員数は純増39名とのことでした。

話は変わりますがお配りした『ガバナー月信』にも特集が掲載されているように、『ロータリーの友』12月号にも、横組P24~25に、10月24日の世界ポリオデーに開催された、丸の内でのウォークラリーと、10月18日~24日までの1週間、電車でもポリオ根絶を訴えるトレインジャックプロジェクトの様子が掲載されていました。実行委員会による企画の動機では「昨年8月、アフリカでのポリオ根絶宣言の報道に置いて、国際ロータリーについて全く触れられることがなかったのがバネになり、今年3月、実行委員会が立ち上がりまして」と載っていましたのでご一読ください。

さて、本日は大木崇寛プログラム委員長が青年会議所でブロック長をした後と同じくブロック長をされた笹木醤油株式会社の12代目当主代表取締役社長・笹木吉五郎様に卓話をいただきます。230年続いている事業で、貴重なお話をいただきたいので、私の挨拶は短く終わらせていただきます。本日もよろしくお願いたします。

## 幹事報告

### 長沼 大策幹事

◇会長あいさつにもあったように1月6日(木)、氷川鯨神社様で初詣例会を開催させていただきました。お一人ずつ玉串奉奠をしていただきますので出欠のご回答をお願いします。

◇地区職業奉仕部門から、この世に暮らす事だけでも大変厳しい状況の方々がいるので1社1名の採用をという「命を守る」メッセージのポスターを皆さんにお配りしました。

◇圧迫骨折で入院していた岡野会員が退院され、ご自宅で療養しています。車いすでの生活になったそうで、しばらくは例会に出席するのは難しいかも思えないそうです。



### お見舞い授与

眼の手術をして入院された大塚信郎会員にお見舞いを授与しました。



### 近況報告

#### 齋藤 哲雄 会員

年末なので今年1年に起きたBESTなこととBADなことを報告いたします。まずはBESTなことです。以前、孫ができたとお伝えしました。1歳の節目のイベントを行おうとしたのですが、コロナ禍、両親が教員をしている都合からお祝いができませんでした。5月、初節句でお祝いはできましたが、当日、雨が降っていたので鯉のぼりを孫に見せることができませんでした。孫とは離れて暮らしているので、延期して、10月に遊びに来たときに鯉のぼりをあげてようやく見せることができました。畑に鯉の



ぼりをたてたところ、近隣の方々、通学する小学生たちから好評でした。

BESTなこと2つ目です。3月、普通車の免許の更新でしたが、5回目で合格しました。

BESTなこと3つ目、私は県立大宮工業高校身で、野球部のOB会の会長に昨年任命され、今年1年、コロナ禍の中、会長職を務めました。県立高校はなかなか勝てませんが、今年は6-5、逆転サヨナラで初戦突破しました。95年の歴史がある高校で、昭和43年の選抜高校野球全国大会で優勝したことがあります。できる限り、現役の支援をしたいと思います。

BADなことという残念なことでは、今年、水上公園が開園になったことです。「東洋一の海の殿堂」というフレーズで開園当時は大勢のお客様でイモの子を洗う状態でしたが、コロナ禍で営業できない中、開園を迎えたのは残念だったと思っています。

年の瀬、皆さまお身体ご自愛いただき、よいお年をお迎えください。

### 例会主題

#### 230年続く企業の秘密

笹木醤油(株)12代目当主 代表取締役社長 笹木吉五郎様



皆さん、はじめまして。代表取締役社長になってまだ5年目の若輩者です。精一杯卓話させていただきます。

まず【会社について】です。寛永元年(1789年)に創業し、今年232年目を迎えます。私が高校生の際に父が亡くなり、その後、叔父が社長を務め、川越RCの会長にもなったことがあるのですが、その叔父も2017年に急逝してしまい、その年の8月、事業承継することなく、私が社長になりました。急に社長になったので、右も左もわからず悩んだ日々がありました。そこで高校の先輩であるコドビールの朝霧社長に相談に行ったところ「義務感で社長をすと周りが苦しくなるので、笹木君がやりたいことをやれば周りも楽しく仕事ができるよ」と言われ、数字や目標よりも地域社会から認められるような会社を目指した方がいいよとアドバイスをいただきました。そのような会社を目指したわけではありませんが、がむしゃらにやっていた中で経済産業省やいろいろなところから推薦いただき賞を受賞しました。川越蔵造りの街並み

にある川越店では、醤油の美味しさを汁出ツゴで伝えるうどん屋さんなども経営しています。

続いて外部環境【醤油業界の現状】についてです。当社の国内出荷量のピークは1973年でした。1990年以降20年間で、どんどん出荷量は減り続け2010年には3割ほど減少しました。全国の醤油メーカーは、1955年に6千蔵あったのが、最近1100蔵に減少しています。ただ一方で醤油大手のキッコーマンなどは今、和食ブームなどで海外への出荷量が増え、全体の63%を占めています。

【事業承継】ですが、社長を継いだ当時、会社はいい状態ではなく、課題が山積みで眠れない日々が続きました。醤油業界は職人さんが、自分の仕事はするけど、他の仕事はしないとか、働く人のモラルが欠如している部分があり、いろいろ変えたいと思いつつも変えられず、経営コンサルのセミナーや無料相談会に行っていました。ただ外部のコンサルに頼るのではなく、まずは自分らしく、泥臭くやってみようという決意をしました。その中で新たな取組を3つ始めました。

まずは「モノ消費からコト消費」に発想を切り替えました。3年前からお客様と一緒に、醤油の原料の大豆づくり・収穫と、大きな桶で醤油を仕込む体験を始め、非常に人気のイベントになりました。満員になりました。作った醤油は100mlの瓶で2万本売れるヒット商品になりました。

次に、国内出荷量が減っているから「海外展開」を始めました。当初は営業部長から反対されましたが、海外へ販路を拡大することを決めたJETROや中小機構に相談し、今ではヨーロッパ、北米、アジアに販売できるようになり、世界11か国で輸出させていただいている状況になりました。フランス・パリではミシュラン一つ星レストランに醤油を卸させていただいたりとか、コロナ禍、海外に向けての売上が昨年は2倍以上に増え、醤油の本業を支えてくれている状態

「海外展開」  
2017年から本格的に海外への販路拡大開始

フランス  
ミシュラン一つ星レストラン  
Restaurant "Frenchia"

香港  
香麻老豆腐イベント



て、埼玉県内の食品メーカーさん6社と一緒に行き、今も継続してバスクに醤油を卸しています。

さて醤油の前の段階の醗(=諸味。もろみ)を仕込むには、大きな木の桶を使いますが、今の木の桶で仕込んでるのは国内に1.8%、木の桶を作る職人さんが全国に50名ほどしかいない状態です。

ひたむきにやってきた中で創業230周年を、私が事業承継して2年目で迎えることになって、本心がむしゃらにやっていた、この230周年をターニングポイントにして、あらたな会社の方向性を定めよう、笹木醤油の目指すべき姿は、『日本一、笑顔をつくる醤油蔵』と設定しました。笑顔とは、働いている人の笑顔であり、お客様の笑顔であり、地域の笑顔です。

笑顔を作る具体的手法として「しょうゆパーク」を2019年11月16日にオープンさせました。

「木桶醤油文化」の発信拠点となり、次世代にその文化を繋いでいけるよう、醤油醸造の工場見学を核として、地元の方並びに、国内外の観光客の皆様へ“食べる”・“学ぶ”・“買う”・“遊ぶ”4つをテーマに、楽しみながら体験できる複合施設となりました。いちばん軸になっているのが「学ぶ」で工場見学があります。工場見学は平日一日3回、土日祝日は一日11回、多い時はもっとやっていきます。食べるはレストランをやっています。オープンして2年で「しょうゆパーク」への総来場者数が10万人を越えました。工場見学には25,000人の方に参加していただき、いろいろなメディアにご紹介いただきました。今でも土日祝日は150~250人くら

木桶職人復活プロジェクト  
2016年より、半世紀ぶりとなる桶の薪割に挑戦  
2018年には、初となる埼玉県産木材100%使用の20石の大桶が完成

しょうゆパークオープン  
創業230周年記念事業「しょうゆパーク」オープン  
本社展示バージョン、2019年11月16日オープン



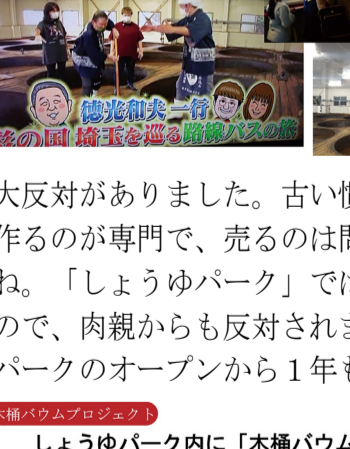
この来場があります。もしよろしければご家族でお越しください。

「しょうゆパーク」をオープンする際、当然、周りから大反対がありました。古い慣習で、本来、醤油蔵は作るのが専門で、売るのは問屋さんには販売するけど、「しょうゆパーク」では自分たちが販売も行うので、肉親からも反対されました。そのような中、パークのオープンから1年も経たずして、バウムクーヘンの製造販売を始めました。川島には美味しい卵があり、また特産のイチゴがあるので、製造販売で、「しょうゆパーク」の来場者数増加を牽引しているのは、このバウムクーヘンです。バウムクーヘンはコロナ禍の中、逆に追い風になって、お家で家族で美味しいものを食べるというニーズから非常に伸びています。来年川越市が市政施行100周年ということでバウムクーヘンの2号店をオープンする予定で計画を進めさせていただいています。

もうすぐ事業承継から4年になります。今でも経営者としての資質の向上と、経営力の向上を常に自身で考えています。『戦略を身につけるには、勉強し続けることが大事で、経営に関わる本を毎朝30分は欠かさずに読み返しています。昨日より今日、今日より明日、会社の預貯金をどう増やすか、キャッシュポジションなど「財務のコト」に向き合いました。そして高収益型事業構造への変革に向けて、

これまでの実績  
▶しょうゆパーク総来場者100,000人  
▶しょうゆ楽校(工場見学)入学者25,000人  
▶メディア取材多数

木桶バウムプロジェクト  
しょうゆパーク内に「木桶バウム工房」川島町の特殊物の「卵」や「いちご」を使ったバウムクーヘン製造工場を2020年4月24日(金)オープン



というのが笹木醤油の課題で、会社の収益性を高めるため、環境の変化にスピーディーに対応するために現在では、経営計画書を策定・発表しています。毎月次々の監査が終わったら売上・変動費・粗利益・固定費・営業利益を全社員に発表して共有しています。その月ごとにPDCAサイクルを回して問題があったら速やかに対応し、結果とするとすごく良かったです。会社の情報をオープンにすることによって、働いている方が自分で考えるようになって課題を解決し、自立型の社員になりました。おかげさまでコロナ禍でも増収増益でいい着地点を迎えたいと思っています。

最後に『事業経営とは顧客の創造』というのはドラッカーの言葉ですが、お客様あっての会社だと思ひ、いかにお客様を自分達で創っていくかということに念頭に今も経営させていただいております。あと『変化する市場とお客様の要求に合わせてわが社をつくりかえる』ということをごすこく考えています。先日、尊敬する川越の氷川神社の山田宮司から『常若(とこわか)の精神』という言葉をお授けいただきました。長く続くものは、常に若いという言葉です。伊勢神宮は式年遷宮で20年毎にすべてを新しくするんですね。長く続くいちばんの秘訣は常若の精神だと思っています。今の事業がずっと大丈夫かどうかという保証はないので、常若の精神を会社全体で共有できているところが、試練や困難があっても続けていけるのかなと感じています。私は会社をお預かりしている立場ですので、トヨタ自動車の豊田章男社長の言葉ですが、『自分の思い描く理想の形で次世代に權を渡したい』と標を渡します。ご清職いただき本当にありがとうございました。

齋藤修弘会長/深澤副会長/長沼幹事/門崎副幹事/武重会員/大塚信郎会員/大木保司会員/齋藤博重会員/齋藤哲雄会員/樋口会員/宇多村会員/小田切会員/丹井会員/大木崇寛会員/関口良康会員/山崎会員

会員数 36  
出席数 23  
欠席数 13  
出席率 63.89%

